

第1期中期目標期間の達成状況に関する評価結果

申立ての内容	申立てへの対応
<p>【評価項目】 (I) 教育に関する目標 2 各中期目標の達成状況 ② 教育内容等に関する目標 〈特記すべき点〉 (優れた点)</p> <p>【原文】 「中期計画「広い視野にたった学問分野の融合的な研究教育体制を構築する」について、平成20年度グローバルCOEプログラム「アジア域での流域総合水管理研究教育の展開」の採択により、既存の大学院博士課程「国際流域総合水管理特別コース」に接続する大学院修士課程「国際流域環境科学特別教育プログラム」を新設し、機械・電気・コンピュータの深い独自の専門知識と、これらの分野にまたがる知識、技能を備えた技術者を養成するため、異分野学生間の協働製品開発作業及び発表・討議、異分野教員の指導、主体的開発能力の育成等の優れた教育プログラムが実施されているという点で、優れていると判断される。</p> <p>【申立内容】 【修正文案】の通り変更願いたい</p> <p>【修正文案】 「中期計画「広い視野にたった学問分野の融合的な研究教育体制を構築する」について、平成20年度グローバルCOEプログラム「アジア域での流域総合水管理研究教育の展開」の採択により、既存の大学院博士課程「国際流域総合水管理特別コース」に接続する大学院修士課程「国際流域環境科学特別教育プログラム」を新設して、<u>流域管理に関連する水工学・水文学・環境工学・医科学の分野の融合を図るとともに、「</u></p>	<p>【対応】 意見のとおりとする。</p>

組込み型統合システム開発教育プログラム

」においても、機械・電気・コンピュータの深い独自の専門知識と、これらの分野にまたがる知識、技能を備えた技術者を養成するため、異分野学生間の協働製品開発作業及び発表・討議、異分野教員の指導、主体的開発能力の育成等の優れた教育プログラムが実施されているという点で、優れていると判断される。

【理由】

「機械・電気・コンピュータの深い独自の専門知識と、これらの分野にまたがる知識、技能を備えた技術者を養成するため、異分野学生間の協働製品開発作業及び発表・討議、異分野教員の指導、主体的開発能力の育成等」の記述は「組込み型統合システム開発教育プログラム」に対しての内容である。

原文では、この内容が「国際流域環境科学特別教育プログラム」と同一に捉えられ、事実と異なる解釈がされる可能性がある。このことから、両プログラムを明確に区別した表現に修正し、より正確性を期すこととしたい。